

令和 7 年第 8 回 定例 公安委員会 会議録

開 催 日 時 令和 7 年 3 月 6 日（木）午前 11 時 9 分～午後 2 時 47 分

開 催 場 所 警察本部

第 1 定例会議

1 開催時間 午後 1 時 30 分～午後 2 時 27 分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 森本警務部長 宮田首席監察官 細田生活安全部長
 前田刑事部長 樋口警備部長 濱本警察学校長
 永井情報通信部長 土井田米子警察署長 渡邊交通部総括参事官

（事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

- 「令和 6 年政策評価報告書」及び「令和 7 年推進・評価計画書」の策定（警務部）
- 警察官の援助要求（刑事部）

（1）「令和 6 年政策評価報告書」及び「令和 7 年推進・評価計画書」の策定（警務部）

警察本部

鳥取県警察における政策評価については、平成 17 年から毎年実施しているところ、鳥取県警察政策評価実施要綱において、政策評価委員会で審議、決定を行い、公安委員会の承認を受けることと規定されている。

政策評価報告書、推進・評価計画書ともに、鳥取県警察の重点目標に沿って作成しており、令和 6 年度は県民に対する分かりやすい周知、資料作成に係る職員の負担軽減を目的として、ページ数を大幅に削減し、簡素化を図った。

令和 6 年中の重点目標に対する主な取組結果について、「総合的な犯罪抑止対策の推進」では、ストーカー・DV 等の人身安全関連事案の対応に当たっては、関係機関等と連携した的確な被害者等の保護措置を講じるとともに、積極的な事

件化を図るなど、組織的な対応で被害者等の安全確保を最優先とした取組を推進し、被害の未然防止・拡大防止を図った。特殊詐欺被害は、被害額が前年比で減少したものの、被害件数は過去最多となったほか、SNS型投資・ロマンス詐欺被害が急増したため、極めて厳しい状況となった。刑法犯認知件数は2,252件であり、2,000件以下の抑止目標を達成できなかったことから、今後も地域の犯罪情勢に応じた犯罪抑止対策を粘り強く推進していく。

「重要犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進」では、県民の体感治安に大きく影響する重要犯罪、重要窃盗犯、重要知能犯等に捜査の重点を置き、効果的な捜査を推進した。特殊詐欺では、特殊詐欺連合捜査班を活用した迅速かつ効果的な捜査を推進し、だまされた振り作戦で還付金詐欺の現金回収役被疑者を検挙したほか、還付金詐欺の出し子被疑者を富山県警察等と合同捜査を推進し、検挙した。また、特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長、暴力団に対する取締りの推進など総合的な暴力団排除活動を推進した。

「交通死亡事故抑止に資する総合対策の推進」では、交通死亡者数を16人以下とし、可能な限りゼロに近づけるため、高齢者対策、飲酒運転対策等、交通事故の情勢を踏まえた効果的な交通事故防止対策の推進を行った。高齢者の被害・加害事故防止対策として、各種教養や個別指導などを実施、交通事故抑止対策として、赤色灯点灯によるレッド走行など警戒活動を実施するなど、交通事故抑止対策を推進した結果、交通事故死者数は前年から1人増加となる15人となったが、3年連続して抑止目標の16人以下を達成した。

「テロの未然防止と緊急事態対策の推進」では、爆発物原料販売業者等に対する管理者対策などテロ等違法行為の未然防止に向けた各種対策を推進したほか、海上保安庁等と連携した大規模災害の発生を想定した機能移転訓練等の緊急事態対策、官民一体となったサイバー攻撃対策等の諸対策を推進するとともに、警護の実施に当たっては、警護従事者の育成に力を入れ、警護対象者等の身の安全の確保に万全を期した。

「警察活動基盤の充実強化」では、オープンキャンパス、職場体験等の体験型イベントを積極的に開催する等、採用募集活動を推進したほか、鳥取県犯罪被害者総合サポートセンターの新設により、県、警察、民間支援団体が一体となるワンストップ支援を開始するなどの犯罪被害者への取組、鳥取県警察職員ワークライフバランス等推進計画に沿った取組等を推進した。

これらを中心に、令和6年中の取組結果、令和7年の推進計画を取りまとめており、令和7年も、県民の期待に応えるべく、各重点目標に掲げた取組を推進することとしている。

委員

令和6年政策評価報告書、令和7年推進・評価計画書について、昨年までは膨大なページ数であったものが7ページにまとめられており、今回は大変な作業だったと思うが、今後の職員の負担軽減につながることであり大変良いと思う。報告書及び計画書とも、重点目標5項目に対する評価方法、評価結果、今後の課題

を分かりやすく記載されている。計画の達成に向けて、しっかりと活動をお願いしたい。

委員

県民に対して、政策評価を分かりやすく示すことは重要なことであり、分かりやすくまとめていただき有り難い。推進計画の新たな項目として、少年警察活動やSNS型投資・ロマンス詐欺、匿名・流動型犯罪グループという新たな言葉が出てきたように、時代に応じた対策が必要となっていており、交通死亡事故について、抑止目標数を14人以下とする目標を掲げられ、県警察の高い意識を感じた。県民のために様々な活動をしていただけており、感謝を申し上げる。

政策評価等について、多くの県民に目を通していただきたいが、聞き慣れない言葉の記載があり、注釈があれば分かりやすいと思った。県民に理解してもらいやすい内容となるよう、検討していただきたい。

委員

報告していただいた内容について、県警察のホームページに掲載することであった。掲載にあたっては、県民が知りたい情報がすぐに分かるように工夫していただけたらと思う。

(2) 警察官の援助要求（刑事部）

警察本部

埼玉県公安委員会から、「カンボジア人による太陽光発電施設等を対象とした広域窃盗事件」合同捜査のため、警察官2人の派遣要求があった。

委員

県内でカンボジア人を検挙されたとのことであり、大変すばらしい。埼玉県警察と協力し、しっかりと事件捜査をしていただきたい。

委員

まずは、よく犯人を確保していただいたと思う。外国人が多数来日されているが、一生懸命生活されている方が大半である中、外国人犯罪グループによる犯行が相次げば、犯罪者であるかのような目が向けられてしまうことにつながりかねない。確保して逮捕していただくことで、真面目に生活されている外国人のためにもなる。今回は埼玉県警察との合同捜査であり、長期間の派遣になる可能性もあるが、派遣員を交代させながら全容を解明し、悪い芽をつんでいただきたい。

委員

外国人による犯罪捜査は、言葉が通じず大変だと思うが、鳥取で検挙されたこ

とは大変すばらしいことである。埼玉県警察との合同捜査を頑張ってもらいたい。

4 報告事項

○鳥取県警察採用戦略2025（警務部）

○米子警察署の取組状況（米子警察署）

（1）鳥取県警察採用戦略2025（警務部）

警察本部

鳥取県警察では、県警察の将来を担う優秀な人材を確保するための基本方針として、毎年「鳥取県警察採用戦略」を策定している。

まず、令和6年の採用情勢であるが、警察官・警察行政職員ともに、合格者は昨年より増加したが、受験者数については警察行政職員で若干の増加があったものの、警察官の受験者は令和2年以降減少を続けている。今後も、少子化や若者の公務員離れなどにより、更に厳しい採用情勢が見込まれることから、組織一丸となった採用活動を推進するための基本方針として、「鳥取県警察採用戦略2025」を策定し全職員の意思統一を図るものである。本戦略の中身としては、採用活動の前提となる「本県警察が求める人材」、「志望者が求める情報」を認識した上で、採用活動の前提となる3本柱の「採用広報活動」、「採用募集活動」、「辞退防止活動」を基本とした活動を推進することとしている。

当面の採用関係の日程について、令和8年4月採用予定の警察官A・B1回目及び大学卒業程度の警察行政職員の受験申込の受付が既に開始されている。今回、インパクトのあるポスターを作製したので、知恵を絞った広報を行い、受験者が一人でも多く集まるための活動を行っていく。また、採用イベントとして、3月26日に警察学校及び機動隊、翌27日に警察本部でオープンカンパニーを開催予定である。その他にも、様々な仕事説明会に参加する予定としており、鳥取県警察の魅力を多くの方に知っていただけるよう、引き続き組織一丸となって採用活動を強力に推進していく。

委員

インパクトのある良いポスターができあがった。令和6年の警察官採用試験では、目標に近い人数を確保することができた。採用された職員にアンケートを行い、工夫した広報活動等を実施し、小・中学生を含め、幼いころからの憧れの職業にしていく根回しをお願いしたい。

委員

採用に関しては、民間企業も大変苦労している。そんな中で、この度作製され

たポスターはすばらしいデザインであり、今年の採用戦略に取り組む意気込みを感じる。今年から新たにオープンカンパニーをはじめられるとのことであり、組織全体を見ていただく機会になるので、成功させていただきたい。

警察学校について、高い志を持って警察官になられる方が、老朽化した施設で勉強するのは違和感を感じる。学ぶ場所を更新していただけるよう、機会があれば国への要望をお願いしたい。優秀な人材を確保するためには受験者数を増やすことが必須であるので、今後も頑張ってください。

委員

高校受験の状況を見ると、全国から志願者が集まる高校や、定員を割っている高校がある。魅力の発信方法について、学ぶべき点があるかもしれないので、参考としていただきたい。

オープンカンパニーで施設を見ていただき、具体的なイメージ持ってもらうことは、大変すばらしい取組である。警察は、県民の安全安心を守る大事な仕事であることを知っていただき、引き続き採用募集活動を頑張ってください。

(2) 米子警察署の取組状況（米子警察署）

米子警察署

米子警察署長から、戦略的な広報活動の推進、大規模警備・交通対策について説明がなされた。

委員

米子警察署では、交通事故防止に資する関係機関との連携等により、交通死亡事故ゼロを約470日間継続されており、大変すばらしい。引き続き対策を行い、日数を伸ばしていただきたい。特殊詐欺被害防止広報についても、あらゆる手段を駆使し、広報をしっかりとされている。阻止した金額が、被害総額を上回っており、関係機関との連携が上手くいっていると思うので、引き続きよろしく願います。

委員

米子警察署は鳥取県西部の拠点であり、特に交通安全、特殊詐欺被害防止に尽力されていることをお聞きし、大変有り難いことである。交通死亡事故が約470日発生していないのはすごいことだと思う。その裏側では、工夫された取組をしておられ、特に、自転車安全運転推進リーダーに米子高校を委嘱されたことは県下初の取組であり、ヘルメット着用は交通死亡事故抑止のためには非常に重要なことであり、是非この取組を他の高校等にも広げていただきたいと思う。特殊詐欺被害防止においては、他機関との連携が不可欠であり、米子信用金庫と協働して啓発動画を作成し、Instagramで配信されている取組は、日頃の信頼関係

からできた取組だと感じている。

大臣等警護や各種警備・交通対策も大変な業務だと思うが、鳥取県の県民の安全安心のため、今後も引き続きよろしくお願いします。

委員

米子市内は、県内でも人の往来が多い地域であり、そんな中で交通死亡事故ゼロを長期間達成されているのはすごいことだと思う。インスタグラムで、地元の銀行と協働して動画配信をされており、地元が密着している雰囲気伝わってきて、大変よい取組であると感じる。今後も頑張ってもらいたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・警察職員の援助要求
- ・「令和6年政策評価報告書」及び「令和7年政策評価推進・評価計画書」の策定について
- ・鳥取県警察採用戦略2025

4 報告事項

5 決裁

- ・鳥取県道路交通法施行細則の一部改正
- ・鳥取県警察国有物品管理規則の一部改正
- ・審査請求に係る答申書の受理について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。